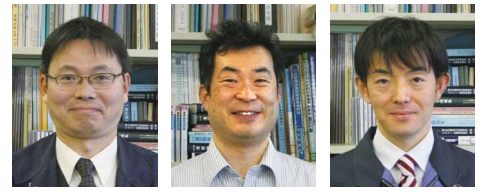


サンドパック共同研究成果、 浜崖後退抑止工マニュアルが完成 —宮崎海岸で我が国初の本格採用—



河川研究部 海岸研究室 室長 諏訪 義雄 主任研究官 野口 賢二 研究官 (博士(農学)) 渡邊 国広

(キーワード) 浜崖後退抑止工、サンドパック、マニュアル、共同研究

1. 共同研究

H22～H24に実施された共同研究「海岸保全における砂袋詰め工の性能評価技術に関する研究」の成果として、国総研資料第745号「浜崖後退抑止工の性能照査・施工・管理マニュアル」が完成した¹⁾。共同研究は国総研海岸研究室とジオテキスタイルメーカー3社(ナカダ産業株式会社、前田工織株式会社、三井化学産資株式会社)が実施した。研究では、水理模型実験、実物大実験、材料試験等を行うとともに、浜住海岸、宮崎海岸等で現地試験を行った。

H25年7月2日には、行政、大学、建設コンサルタント会社、建設資材メーカーなど92名の参加のもとつくば市研究交流センターにおいて報告会を開催した。

2. 浜崖後退抑止工とサンドパック

浜崖後退抑止工は、サンドパック(砂袋詰め工)と養浜盛土からなる(図参照)。浜崖後退の原因となる浜崖基部の侵食をサンドパックと養浜で防ぐことにより浜崖の後退を抑止する。サンドパックは、現地の海浜材料や養浜材を中詰め材として用いるので、コンクリート護岸に比較して施工が迅速である。浜崖後退抑止工のサンドパックは、天端がバーム高程度と低いため平常時には砂をかぶり砂浜になじんだ景観となる(写真-1参照)。

宮崎海岸大炊田地区の埋設護岸として我が国で初めて本格的に採用された(写真-2参照)。

【参考】

1) 国総研資料 No.745 pp. I-1-1 - II-4-149
<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn0745.htm>

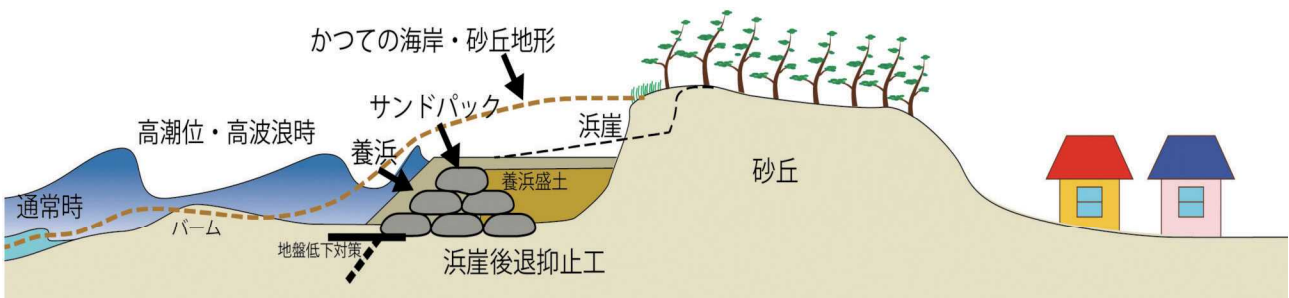


図 浜崖後退抑止工とは



写真-1 砂浜になじむ浜崖後退抑止工(浜住海岸)



写真-2 宮崎海岸で採用された浜崖後退抑止工